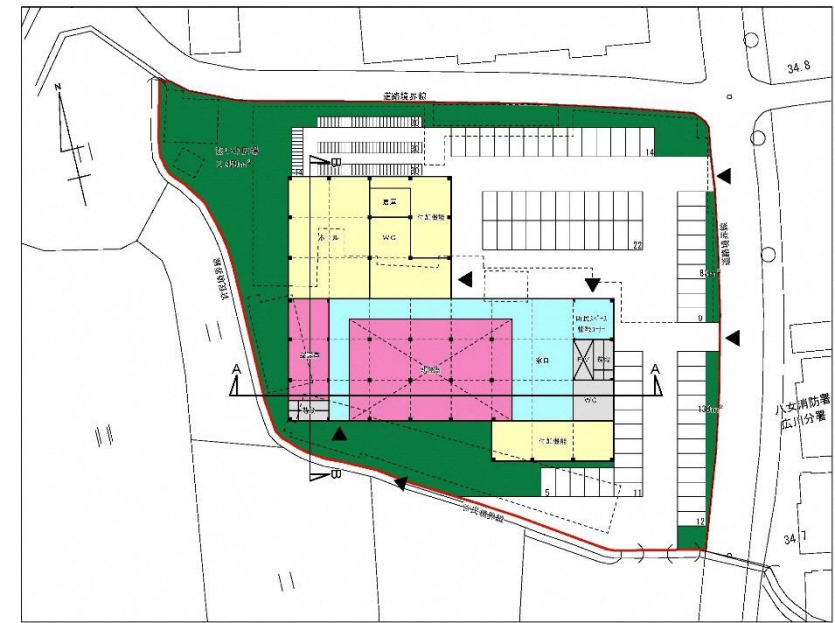
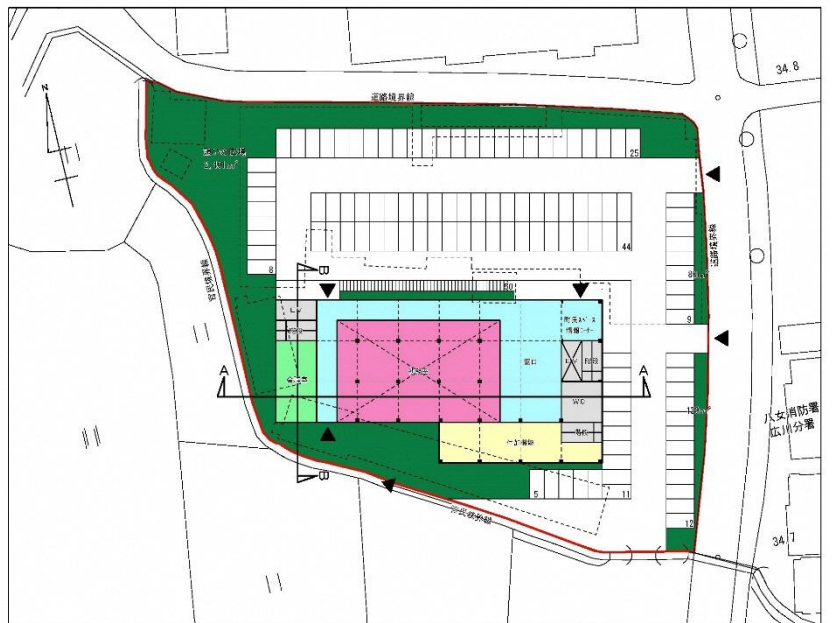
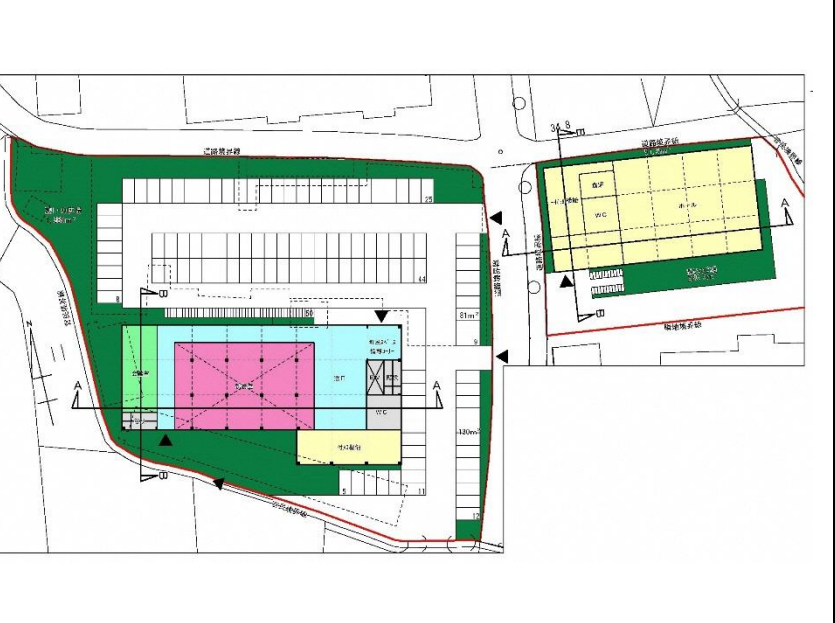


■ゾーニングの比較検討

ゾーニングの比較について、規模、ホール設置、付加機能、駐車場の各条件から比較検討を行っています。また、延床面積は、約 5,500 m²程度とし検討しています。

	① 低層案	② 高層案	③ 分棟案
概要図			
建物規模			
建築面積	1,911 m ²	1,372 m ²	1,323 m ² (新庁舎) 882 m ² (ホール)
延床面積	5,439 m ² (新庁舎 4,704 m ² 付加機能 735 m ²)	5,488 m ² (新庁舎 4,312 m ² 付加機能 1,176 m ²)	5,733 m ² (新庁舎 4,704 m ² 付加機能 1,029 m ²)
配置条件			
建物形状	不整形	整形	整形
階層	3層	6層	4層
駐車可能台数	来庁舎用 約 39 台 公用車 34 台	来庁舎用 約 80 台 公用車 34 台	来庁舎用 80 台 公用車 34 台
配置の特徴	・1階ホールと広場と一体利用が可能。	高層化することで、駐車スペースを多く確保できる。	・武徳館跡地にホールを設けることで、駐車スペースを多く確保できる。
ホールの利便性	・1階にあるため、利用しやすい、外部と一体利用が可能。	・2階にあるため移動距離が長くなるため、利用しにくい。	・武徳館跡地にホールを設けるため、交流センターと連携が可能。 ・1階にあるため、利用しやすい、また外部と一体利用が可能。
駐車場の利便性	・ほかの案に比べ駐車台数が少ない。	・駐車場台数が多い。	・駐車場台数が多い。
付加機能の拡張性	・1階にホールがあるため拡張性は低い。	・拡張性が高い。	・拡張性が高い。
日影の影響	小さい	大きい	小さい